

印刷業の協業組合ユニカラー(日置市)は、ウイルスや細胞の増殖を抑える特殊なインキで抗菌加工を施した透明シールを商品化した。不特定多数が触れるドアノブやエレベーターボタンへの使用を想定している。

同社は九州で唯一、抗菌製品技術協議会の「SIA Aマーク」の認証を受けており、これまで、抗菌加工の名刺やチラシを作っていた。新型コロナウイルスの接触感染への懸念が高まる中、取引先からドアノブなどに貼れるシールを依頼されたのをきっかけに、丸形やし字形ドアノブ用、自動ドア用など4種類を作成。7月中旬に発売した。弱粘性で、1週間程度

## ドアノブやエレベーターボタンに 抗菌透明シール発売

日置・ユニカラー

で貼り替えて使う。4種類1セット200円。同社営業部の生野忠男部長は「印刷の技術をコロナ対策に応用した商品」と話す。県内外の宿泊施設や一般消費者から問い合わせが来ているという。ユニカラー099(813)7213。

(吉田文)



ドアノブに貼られた抗菌シール  
(ユニカラー提供)